

令和5年度改善事例集

ステークホルダーからのご意見、ご要望等への対応による改善事例

佐賀大学では、よりよい大学運営や教育内容・方法の改善等に役立てるために、本学のステークホルダー（学生、卒業（修了）生、新入生、ご家族、教職員、学外の各委員及び関係者、地元企業の皆様、地域の皆様など）からさまざまなご意見・ご要望等をいただきました。それらへの対応状況の中から具体的な改善事例をピックアップして公開いたします。今後とも、地域とともに発展しつづける大学であるために、いただいたご意見等に対し改善に向けて努力してまいります。

【令和5年度意見聴取（令和5年度 意見対応） 令和6年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R6.3.31）	改善年度
11①	患者様及びその関係者様など	ご意見箱	○ご意見・ご要望 ・駐車場が病院建物から遠い。	患者様及びその関係者様など外部等の視点から見た病院運営の在り方及び病院サービス向上について活用する。	①駐車場が病院建物から遠い。 →病院建物付近に立体駐車場を増設し、令和5年10月から運用開始しました。	R5
11②	患者様及びその関係者様など	ご意見箱	○ご意見・ご要望 ・院内レストランを再開してほしい。	患者様及びその関係者様など外部等の視点から見た病院運営の在り方及び病院サービス向上について活用する。	②院内レストランを再開してほしい。 →令和5年7月から院内レストランをリニューアルオープンしました。	R5
16	学生・教職員	本庄キャンパス駐車場整備事業（本庄地区構内交通規程の改定）	駐車場がほぼ満車状態のため、入構バスクード交付者の駐車に支障をきたしている。	駐車場の現状を調査し、対応策を策定・実施する。	台数調査の結果、一時入構券を利用した通勤・通学者が全体の4割を占めていたことから、一時入構料に関する本庄地区構内交通規程の改定（令和6年4月1日～：200円/24時間→100円/1時間）を実施します。 また、抑制効果については令和6年度からの実施状況を検証する計画です。	R5

【令和4年度意見聴取（令和5年度 意見対応） 令和6年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R6.3.31）	改善年度
1	佐賀大学広報誌「かちがらす」第46号読者アンケート回答者	佐賀大学広報誌「かちがらす」第46号読者アンケート（広報誌についてご意見・感想）	○意見・感想 ・プレゼントがあると嬉しい	・第47号で読者プレゼントを実施しました。	・47号から始めた読者プレゼントは、以降の号でも継続しています。その結果アンケート回収率が以前の3～4倍まで増加しました。また、読者プレゼントのグッズも好評であったことから、佐賀大学生協同組合において佐賀大学オリジナルグッズとして販売することが決定しました。	R5
4③	ホームカミングデー参加者（佐賀大学卒業生、名誉教授）	第11回ホームカミングデー参加者アンケート	自由な環境と雰囲気のもとで、学生や若手教員の能力が十分に伸びるように長期的計画に従って施策を進めてほしい。特に、学生や若手教員の海外派遣を積極的に進め、海外の見識が深まるよう尽力していただきたい。	・校友会で実施している学生支援事業の海外派遣奨励金を充実することとした。	・校友会で実施している学生活動支援事業の海外派遣奨励金及び国際交流奨励金を、令和5年度は20万円増額しました。 ・また、校友間交流支援事業の海外版ホームカミングデー支援経費を20万円増額し、タイのバンコクで開催しました。 ・以上のように校友会の海外派遣等の経費を充実して支援事業を実施しました。 ・なお、若手教員については、サバティカル研修において「若手教員の特認適用」を新設し、海外研修の支援の充実を図りました。	R5
5	奨学金受給者（意見交換の場：懇談会）	奨学金受給者との懇談会	基本教養科目の選択肢が少なく、更に抽選されるので、希望通りに受講できない。	学部によっては、必修科目である学部専門科目と時間が重なることで、履修できる科目に制限があった。	・令和5年度は新たに「データサイエンス Basic」等、オンデマンドで受講できる科目を複数科目追加し、受講できる科目を増やしました。	R5
6	卒業（修了）予定者	卒業（修了）予定者を対象とした共通アンケート	学内のWi-Fiがつながりにくいことがあり、少し不便な時がありました。Wi-Fiの接続、更新がうまくできないことがありました。	キャンパス情報ネットワークの充実のため、令和5年10月までに、Wi-Fiアクセスポイントの性能向上を含めたキャンパス情報ネットワークシステムの更新を行う。	・Wi-Fi（OOOsaga-U）接続開始時において、旧ネットワークでは多重に認証を要求していたため、一部の認証機構が過負荷となり繋がりにくい時間が発生していました。 ・新ネットワークでは、1回の認証で済むように構成を変更し、あわせて認証サーバへ集中していた負荷の低減を図りました。これにより、従来よりも接続操作が単純になりスムーズな接続が実現しました。	R5

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例 (R6.3.31)	改善年度
7①	佐賀県庁 (意見交換の場: 佐賀県・佐賀大学連携調整会議)	T SUNAG I プロジェクト	令和元年より毎年実施している佐賀県・佐賀大学連携調整会議において、本学の取組等の情報共有を行ってきた。情報共有した本学の取組の成果が認められ、より強気に佐賀県内の地域課題の解決や県内の産業・学術の振興を図ることになった。	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県内の地域課題の解決や県内の産業・学術の振興のため、令和4年度より佐賀県による研究支援事業「T SUNAG I プロジェクト」がスタートした。 「T SUNAG I プロジェクト」が継続的に実施されるために、佐賀県・佐賀大学連携調整会議等で本学の取組について情報共有を続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は令和5年7月19日に第7回、令和6年2月13日に第8回の佐賀県・佐賀大学連携調整会議を実施しました。 これまでの会議を通じて県に本学の取組が認められ、令和5年度T SUNAG I プロジェクトでは、継続事業が13件、新規事業が10件の計23件が採択され、県からの支援額は令和4年度に比べ、令和5年度は約2倍に増額となりました。 	R5
7②	佐賀県庁 (意見交換の場: 佐賀県・佐賀大学連携調整会議)	T SUNAG I プロジェクト	令和元年より毎年実施している佐賀県・佐賀大学連携調整会議において、本学の取組等の情報共有を行ってきた。情報共有した本学の取組の成果が認められ、より強気に佐賀県内の地域課題の解決や県内の産業・学術の振興を図ることになった。	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県内の地域課題の解決や県内の産業・学術の振興のため、令和4年度より佐賀県による研究支援事業「T SUNAG I プロジェクト」がスタートした。 「T SUNAG I プロジェクト」が継続的に実施されるために、佐賀県・佐賀大学連携調整会議等で本学の取組について情報共有を続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> T SUNAG I プロジェクトの事業の中で令和4年度からの継続事業である農学系 宮本准教授の研究が新聞やテレビなど多くのメディアで取り上げられました。この取り組みは今後2年ほどかけてデータ収集を行い、地域住民の避難を後押しするなど現行の土砂災害警戒情報を保管する技術となることが期待されています。 	R5
8①	附属図書館利用者アンケート (490名)	附属図書館本館利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 気兼ねなく声を出してグループワークなどができる学習スペースを作ってほしい。 図書等の資料を充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年10月3日、本館4階旧事務室を改修して、新たにグループ学習やディスカッションができる「多目的学習スペース」の整備を行った。 シラバス掲載の参考図書を購入するとともに、学科、教員からの推薦図書の購入及び学生WEB選書ツアーを実施し、学生が必要とする図書の充実を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多目的学習スペースの開設以来1年間(令和4年10月～5年9月)で、延べ24,337人の入室があり、グループ学習やディスカッションとして利用されています。 シラバス図書については、令和5年度当初に約1,400冊の整備、充実を図りました。 また、教員推薦図書は112冊、学生WEB選書ツアーでは72冊整備しました。 	R5
8②	附属図書館医学分館利用者アンケート (109名)	附属図書館医学分館利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 図書館内に配置しているデジタルサイネージの利活用について 図書の配置が高い 	<ul style="list-style-type: none"> お知らせする情報量を増やしていきたい。(学会・セミナーの案内、就活情報など) 図書の書架については、順番に整理して1段低くなるように調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> サイネージを設置してから今まで、図書館関連情報以外を掲示したことはないが、現在進行形で、教職員の方から、セミナー案内のサイネージ利用の相談を受けています。図書館の情報に関しては、以前より頻繁に新しい情報を掲示しています。 図書の書架について、利用者のいない休館日等を利用して、配架している図書の高さが1段低くなるように調整を行いました。 	R5

【令和3年度意見聴取(令和4～5年度 意見対応) 令和6年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例 (R6.3.31)	改善年度
17	附属病院に勤務する職員	医学部附属病院職員満足度調査	賃金が安い、休暇が取りづらい、仕事が多すぎる等	職員の皆さんの仕事に関する率直な思いや意見・要望をできる限り正確に把握し、少しでも働きやすい職場環境作りのために改善活動を行い、魅力ある職場づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境作りを目指し、勤務時間帯の見直し、出生時育児休業の新設並びに看護職員及びコメディカル等の職員の処遇改善を行いました。 令和5年度は、令和6年2月より、看護助手に月額6,000円を増額する待遇改善を実施しました。 	R5
19	教職員・学生	トイレ改修整備計画(トイレの洋式化)	衛生面や利便性並びに時代のニーズに合わせ、建物内に残っている和式トイレを洋式化してほしい。	トイレ改修整備計画(洋式化:102基)を策定し、段階的に整備していく。	<ul style="list-style-type: none"> トイレ改修整備計画(洋式化:102基)を策定し、令和5年度末時点での整備率は17基・16.7%でした。 令和6年度以降も段階的に整備していく計画です。 	R5

【令和2年度意見聴取（令和3～5年度 意見対応） 令和6年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R6.3.31）	改善年度
7	2013～2015年度に入学し、2016～2018年度に卒業した卒業生	卒業生・修了生アンケート	教養教育の役割と重要性について		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度からは、学生の選択履修機会の拡充のため、インターフェース科目を新たに2科目開講しました。 副専攻プログラムを特に国際化に対応したプログラムに変更し、実質化を図りました。 令和6年度からは、数理・データサイエンス・AI教育をベースにして分野横断的な教育を実現した教育プログラムを実施します。 	R5
8	来てみんしゃい佐賀大学へ企画参加者	「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画	オンラインでの授業開放の可能性	<p>令和2年度後学期については、オンラインでのみ授業開放を実施しました。</p> <p>令和3年度については、オンラインでのみ開講する科目、対面でのみ開講する科目、オンラインと対面の両方で開講する科目で授業開放を実施しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度については、新型コロナウイルス感染症による制限がなくなったため、多くの授業科目が対面での開催になりました。 その中で、オンラインでの受講を希望する受講生用に7科目ハイブリッドで開催しております。 今後も可能な範囲でハイブリッド開催科目を継続開講していきます。 	R5

【令和元年度意見聴取（令和2～5年度 意見対応） 令和6年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	具体的な改善事例（R6.3.31）	改善年度
5	授業開放受講者（一般市民）	2019後学期佐賀大学授業開放受講者アンケート	教養科目から継続して学べるような専門科目も開放してほしい。	2020年前学期からは、各学部から選出された専門科目を開放し、開放科目の充実を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により開催中止となりました。2020年後学期はオンラインのみで科目数を絞って実施しました。2021年度前学期からは、コロナ対策を十分に講じた上で、各学部から選出された専門科目を開放し、開放科目の充実を図る予定です。	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、教養教育科目66科目、専門教育科目42科目を授業開放科目として開放しました。 平成5年度受講者数 教養教育科目 延べ115名 専門教育科目 延べ 35名 	R5

【平成30年度意見聴取（令和元～5年度 意見対応） 令和6年3月31日現在】

整理番号	ご意見をいただいたステークホルダー区分	事業等の名称	ご意見、ご要望等の内容	大学の対応	対応状況の点検（R6.3.31）	改善年度
2	来てみんしゃい佐賀大学へ企画参加者	「来てみんしゃい佐賀大学へ」企画 (運いに来んしゃい！佐賀大学の「宝」の数々に小城鍋島家のコレクションをわかりやすく紹介しますー)	・佐大図書館を一般の人でも利用しやすいようにしてください。佐大生、卒業生、一度来たことがある人以外は使いにくい気がします。	<ul style="list-style-type: none"> 附属図書館では、様々な講演会や貴重資料展示等を行うことによって、一般市民の方に大学図書館へ足を運んでいただく機会を作っています。開催にあたっては、広く一般市民の方にお伝えできるよう、広報を充実させて周知に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館ホームページで学外の方も利用できることを掲示しています。また、貴重資料展示などのイベントでは、公共図書館や新聞社等に広報を行い、一般市民の来館促進に努めています。 令和5年度は、イベントとして「牧野富太郎の図書展」「小城藩日記の世界」を開催、学生や教職員、地域の方など860人が来場されました。また、一般市民の図書館利用についても、850人以上（延べ人数）が入館されています。 	R5